

せせらぎ



令和2年12月21日発行 No.9

あと2日で2学期も終わります。校内研究授業もいよいよ最後になりました。今回は、2年生の算数の様子をお伝えします。これまでに、かけ算九九の1～9の段までを学習し、何回も何回も九九を復唱しながら覚えてきました。今日は、習った九九を活用しながら、●の個数が全部でいくつあるのかを導き出す問題です。かけ算？たし算？引き算？

校内研究授業 12/16 (水)

2年算数「かけ算のきまり」

指導者

ねらい「全体の個数を、乗法九九を活用して求めたり、個数を求める図や式から思考過程を読み取ったりすることができる。」

今日の問題です
●の個数は？



今日の問題が提示されました。

つかむ

1. 「めあて」をもとう
2. 「見通し」をもとう



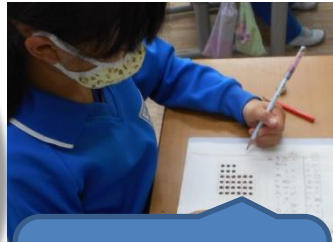
授業の最初に、これまでに習ったことを復習しました。



めあて
「せいいつてないまるの数をかけ算をつかってどのように考えればいいのか。」

追究する・深める

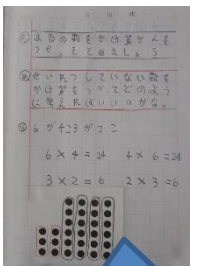
3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう



まずは、一人で考えました。「●を線で囲んでかけ算をしました。」



「かけ算で答えを出したよ。」
「かけ算とたし算を使ったよ。」



上手に書けています。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



個々の考えを発表し、全体で確認し、まとめをしました。

まとめ
「かこんでまとまりをつかってからかけ算をつかってまとめる。」

児童は、●を囲んでまとまりを作り、かけ算やたし算を使えば全体の個数を求めることができるということを理解することができました。

授業研究会では、「子供たちは、●を線で囲みかけ算の式や言葉を使って全体の個数の求め方を考え、ノートに書くことができていた。いろいろな分け方を考えることができた。」という意見が出されていました。